

令和5年度 笠間地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<<地域の現状>> ●笠間地区(笠間連合町内会):大船駅に近く利便性のよい地区です。戸建てと集合住宅、大規模マンションが混在しています。単身者が住むアパートも多数あります。子育て世代も多いことから地域全体の高齢化率は高くありませんが、一部地域では高齢化率が上昇しています。自治会町内会単位で様々な支えあい・見守り活動が行われていますが、取組み状況には差があります。 ●田谷地区(豊田連合町内会):田畑や野山が広がるのどかなエリアです。高齢化率は高いものの、3世代で暮らす世帯が多く、町内会を中心に住民による見守り・支え合いが行われています。緑の多い土地に住宅地が点在していることから隣人との距離が他地域に比べると離れている特徴があります。買い物や通院などの外出には車やバスが必要です。 ●長尾台地区(豊田連合町内会):古くから住む住民同士は繋がりがりがあり、町内会館や公園で様々な活動が行われています。ここ数年新しい戸建てや集合住宅が増えています。		
<<今後の方向性>> ・積極的に地域に出向き、地域の皆様との信頼関係の構築、顔の見える関係づくりに努めます。 ・地域福祉保健計画。地区別計画の推進を区役所・区社会福祉協議会と共に支援すると共に、区計画の推進に取り組みます。 ・住民による支え合い活動や見守り活動が更に活発になるよう、活動のきっかけ作りや、担い手の増加に取り組みます。 ・地域包括ケアシステム構築のため、医療・介護連携など多職種連携の強化を進めます。 ・介護予防に資する取り組みを継続し、元気な高齢者を増やします。		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
■	<input type="checkbox"/>	近隣の高校・大学などへのアプローチで学生ボランティアの新規発掘を行い、既存の自主事業などをツールに「参加」→「企画へのかかわり」など、発展的な取り組みを行う。
<input type="checkbox"/>	■	民生委員(主任児童委員を含む)の改選がされたこともあり、新たにケアマネジャーと連携がとれる関係構築に向けて懇談会を開催。
<input type="checkbox"/>	■	買い物支援のニーズがありそうな地区には移動販売の取組について情報提供を行うと共に、必要に応じて検討の場を設ける。
■	<input type="checkbox"/>	医師会はもとより、栄区歯科医師会にも協力を求め関係を構築し、口腔関係の医療勉強会を開催する。
■	<input type="checkbox"/>	「介護予防のための地域ケア個別会議」の準備と開催を目指す。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
・「近隣の高校、大学へのボランティア活動の新規開拓」に関しては、当初計画していた各学校のボランティアサークル等へのアプローチは実施できなかったが、地域活動の場(お祭りや各種イベント)を通して関わりを持った学生、先生には、聞き取りやボランティア活動への案内を行い年度内に一度は実現できそうな状態となる。今後の課題としては、継続的な活動につながる仕組み作りととらえ、単発で終わらないような取り組みを続けていきたい。 ・「民生委員、ケアマネジャーの懇談会」については、民生委員改選後、初めて開催する事が出来た(笠間エリア)。グループワークでケースの検討を行ったり、お互いの役割の再確認を行ったり、今後の支援に向けて顔の見える関係性が構築できるきっかけを作る事が出来た。 ・「移動販売支援」に関しては、長尾台地区において、現在開催中のサロンの参加者が減少してきている事から、運営ボランティアより移動販売と抱き合わせでの開催の要望があり。現在、移動販売を実施できる民間事業者と地域の担い手をマッチングする調整を行っている(現在調整中)。次年度に向けて、長尾台地区の移動販売の推進に加え、地域ケア会議なども活用し、このエリアにおける高齢者の買い物課題などについて、包括3職種、生活支援Coで検討を進めていく。 ・「栄区歯科医師会との関係性構築、連携」に関しては、歯科医師会に相談をして、区内の歯科医師を講師として紹介して頂き医療講演会を開催した。地域住民と支援者(ケアマネ・施設職員など)と幅広い参加者を対象に歯周病の基本的内容、歯周病が身体に及ぼす影響、歯周病と認知症の関連などについて講義を行っていただいた。 ・「介護予防のための地域ケア個別会議」の開催に関しては、区役所にも実施方法について相談はしているものの、効果的な開催方法が見いだせず現段階では開催には至っていない。今年度末～次年度への持ち越しとなる。		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		
地域との関わりでは、積極的に地域に出向き、地域の方との信頼関係の構築、顔の見える関係づくりの取組を進めていただいています。その中でも、「近隣の高校、大学へのボランティア活動の新規開拓」について、地域活動の場(お祭りや各種イベント)を通して関わりを持った学生、先生に対して、聞き取りやボランティア活動への案内を行うなど、積極的に働きかけを行っていただきました。振り返りの中にある課題点を踏まえ、継続した取り組みをお願いいたします。 また、栄区地域福祉保健計画(地区別計画)の事務局として、会議への出席や連絡調整に取り組んでいただいています。第4期計画から、当地区では連合町内会を推進の主体として位置づけています。地域の意向を主体としつつも、必要に応じて助言等の支援をお願いします。 引き続き、地域の身近な相談機関として地域や関係機関と連携しながら、高齢者、子ども、障害のある人など誰もが地域で安心して暮らせるよう、地域ケアプラザの強みを活かした取組に期待しています。		

令和5年度笠間地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	「横浜市」と名のつく施設である事を重く受け止め、地域住民、福祉保健団体、介護保険事業所などに対して公正中立な立場で業務にあたります。 特に地域包括支援センターで「事業所の選択」に係る相談を受けた場合は、事業所の一覧を提示するなど、複数の選択肢がある事を相談者に示す取り組みを実践します。	横浜市個人情報の保護に関する条例や、法人の個人情報(プライバシー)保護に対するマニュアル等に従い適切に個人情報を取り扱います。また、職員研修による意識向上に加え、当事業所職員以外の実習生やボランティアの方とも個人情報取り扱いの誓約書を交わし適切な情報管理に努めます。情報漏洩防止策としては、マスキング、ダブルチェック、ネット環境の整備など物理的な対策を講じ予防に努めます。
実績	公正中立に業務を行いました。地域包括支援センターで居宅介護支援事業所等「事業所の選択」に係る相談時は「ハートページ」等の事業所一覧を提示し、複数の選択肢から本人・家族が自由に選べることを説明しました。	個人情報の適切な取り扱いに努めました。年度初めの研修において他事業所での事故事例の共有などを行う他、職員会議でも定期的な注意喚起を行い、個人情報保護の意識向上につながるよう取り組みを行いました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	介護予防と自立支援の視点を踏まえ、自分らしく自立した生活を続けられるよう、介護保険制度やインフォーマルサービス等を活用し支援します。	地域に住む高齢者が住み慣れた地域で尊厳を持ち自分らしく安心して最後まで生活できるよう介護保険制度やインフォーマルサービスを活用し包括的に支援します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
		【その他料金】
職員体制	社会福祉士・主任ケアマネジャー・看護師 〔常勤兼務 各1名〕 予防プランナー〔非常勤専従1名〕	管理者〔常勤兼務1名〕 介護支援専門員〔常勤専従3名〕
契約者数	121名	140名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	(ア)ご利用者が自立した日常生活を営めるように支援します。 (イ)ご家族の介護負担の軽減につながるように支援します。		
実施体制	【実施日数】 359日 【提供時間】 10:00~15:00 【定員】 48名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
利用料金	【その他料金】 昼食代:850円	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者 :1名(常勤兼務) 生活相談員 :2名(常勤兼務) 介護職員 :3名(常勤兼務) 介護職員 :15名(非常勤) 機能訓練指導員 :6名(非常勤兼務) 看護師 :6名(非常勤兼務) 介助員 :5名(非常勤)		
契約者数等	【延べ利用者数】 13,273名 【契約者数】 121名	【延べ利用者数】 0名 【契約者数】 0名	【延べ利用者数】 0名 【契約者数】 0名

令和5年度「横浜市笠間地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,462,068		19,462,068	19,462,068	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	60,800	△ 60,800	
雑入	64,000	0	64,000	164,764	△ 100,764	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	59,000		59,000	38,984	20,016	自動販売機手数料
その他	5,000		5,000	125,780	△ 120,780	発電機(寄付)、ルリエ大船通信費他
その他	3,185,000		3,185,000	3,185,000	0	施設使用料相当額
収入合計	22,711,068	0	22,711,068	22,872,632	△ 161,564	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,417,940	0	9,417,940	8,013,942	1,403,998	
本俸	5,814,000		5,814,000	4,952,405	861,595	
社会保険料	799,000		799,000	665,590	133,410	
手当計	2,612,000		2,612,000	1,896,255	715,745	
健康診断費	28,000		28,000	22,207	5,793	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	82,500		82,500	78,904	3,596	
その他	82,440		82,440	398,581	△ 316,141	
事務費	3,126,000	0	3,126,000	1,650,081	1,475,919	
旅費	20,000		20,000	19,650	350	交通費(スイカチャージ)等
消耗品費	352,000		352,000	367,412	△ 15,412	コピー用紙、ペーパータオル等
会議賄い費	9,000		9,000	12,062	△ 3,062	会議飲料等
印刷製本費	45,000		45,000	58,090	△ 13,090	広報誌、名刺印刷等
通信費	488,000		488,000	496,487	△ 8,487	電話料金、切手等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	87,494	△ 87,494	発電機(寄付)
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	66,000		66,000	74,675	△ 8,675	施設賠償責任保険
職員等研修費	0		0	875	△ 875	甲種防火管理講習
振込手数料	3,000		3,000	7,865	△ 4,865	振込手数料
リース料	257,000		257,000	132,943	124,057	AEDリース、コピーリース、ルリエ大船駐車場・駐輪場等
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	18,000		18,000	68,879	△ 50,879	祝金等
その他	1,868,000		1,868,000	323,649	1,544,351	
事業費	500,000	0	500,000	86,764	413,236	
運営協議会経費	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	500,000		500,000	86,764	413,236	
その他	0		0	0	0	
管理費	9,129,128	0	9,129,128	7,929,562	1,199,566	
光熱水費	6,672,000		6,672,000	4,193,594	2,478,406	
清掃費	288,000		288,000	299,110	△ 11,110	
機械警備費	222,000		222,000	221,908	92	
設備保全費	683,000	0	683,000	758,206	△ 75,206	
空調衛生設備保守	243,000		243,000	243,320	△ 320	
消防設備保守	87,000		87,000	115,428	△ 28,428	
電気設備保守	24,000		24,000	35,448	△ 11,448	
害虫駆除清掃保守	54,000		54,000	53,531	469	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	275,000		275,000	310,479	△ 35,479	
共益費	197,000		197,000	182,977	14,023	
その他	1,067,128		1,067,128	2,273,767	△ 1,206,639	ルリエ大船管理組合費・修繕積立金他
修繕費	474,000		474,000	477,951	△ 3,951	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	3,185,000		3,185,000	3,185,000	0	施設使用料
支出合計	25,832,068	0	25,832,068	21,343,300	4,488,768	
差引	△ 3,121,000	0	△ 3,121,000	1,529,332	△ 4,650,332	

自主事業費 収入	0	0	0	60,800	△ 60,800	
自主事業費 支出	500,000	0	500,000	86,764	413,236	
自主事業 収支	△ 500,000	0	△ 500,000	△ 25,964	△ 474,036	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	59,000	0	59,000	38,984	20,016	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	59,000	0	59,000	38,984	20,016	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「横浜市笠間地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,892,539		24,892,539	24,892,539	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0	0	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,852,540		5,852,540	5,852,540	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
雑入	0	0	0	15,062	△ 15,062	
印刷代			0	15,062	△ 15,062	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	2,124,000		2,124,000	2,124,000	0	
収入合計	33,023,079	0	33,023,079	33,038,141	△ 15,062	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,316,007	0	27,316,007	28,795,946	△ 1,479,939	
本俸	15,686,000		15,686,000	16,383,982	△ 697,982	
社会保険料	3,530,000		3,530,000	3,681,269	△ 151,269	
手当計	7,618,000		7,618,000	6,959,493	658,507	
健康診断費	49,000		49,000	50,943	△ 1,943	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	261,000		261,000	320,981	△ 59,981	
その他	172,007		172,007	1,399,278	△ 1,227,271	
事務費	1,932,000	0	1,932,000	3,654,892	△ 1,722,892	
旅費	19,000		19,000	21,819	△ 2,819	交通費(スイカチャージ)等
消耗品費	177,000		177,000	171,434	5,566	コピー用紙、ペーパータオル等
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	14,000		14,000	13,090	910	名刺・封筒印刷等
通信費	332,000		332,000	297,529	34,471	電話料金、切手等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	96,000		96,000	14,808	81,192	電動自転車バッテリー
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	75,000		75,000	79,002	△ 4,002	施設賠償責任保険
職員等研修費	5,000		5,000	875	4,125	甲種防火管理講習
振込手数料	6,000		6,000	7,590	△ 1,590	振込手数料
リース料	165,000		165,000	727,848	△ 562,848	車両リース、ルリエ大船駐車場・駐輪場・コピーリース
手数料	0		0	10,000	△ 10,000	横浜市指定更新申請手数料
地域協力費	5,000		5,000	46,673	△ 41,673	祝金等
その他	1,038,000		1,038,000	2,264,224	△ 1,226,224	地域包括支援システム、ガソリン代、自動車任意保険料他
事業費	1,334,000	0	1,334,000	696,114	637,886	
協力医	630,000		630,000	273,000	357,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	50,000		50,000	93,656	△ 43,656	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	500,000		500,000	175,458	324,542	
その他			0	0	0	
管理費	2,315,072	0	2,315,072	2,107,839	207,233	
光熱水費	1,774,000		1,774,000	1,114,752	659,248	
清掃費	76,000		76,000	79,509	△ 3,509	
機械警備費	59,000		59,000	58,988	12	
設備保全費	181,000	0	181,000	201,542	△ 20,542	
空調衛生設備保守	65,000		65,000	64,680	320	
消防設備保守	23,000		23,000	30,682	△ 7,682	
電気設備保守	6,000		6,000	9,422	△ 3,422	
害虫駆除清掃保守	14,000		14,000	14,229	△ 229	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	73,000		73,000	82,529	△ 9,529	
共益費	52,000		52,000	48,639	3,361	
その他	173,072		173,072	604,409	△ 431,337	ルリエ大船管理組合費・修繕積立金他
修繕費	126,000		126,000	127,049	△ 1,049	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	2,124,000		2,124,000	2,124,000	0	
支出合計	35,147,079	0	35,147,079	37,505,840	△ 2,358,761	
差引	△ 2,124,000	0	△ 2,124,000	△ 4,467,699	2,343,699	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	704,000	0	704,000	423,114	280,886	
自主事業 収支	△ 704,000	0	△ 704,000	△ 423,114	△ 280,886	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和 5 年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市笠間地域ケアプラザ

2023年4月1日~2024年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,325	4,950	-625	5,167	6,337	-1,170	26,580	28,166	-1,586	114,010	117,103	-3,093
	その他	0	0	0	0	0	0	4,648	5,736	-241	415	4,724	-4,304
	要介護認定調査委託事業収入			0			0	119	478	-359	0	0	0
	委託事業収入			0			0	1,105	987	118	0	0	0
	補助金事業収入			0			0	0	0	0	230	235	-5
	受取利息配当金収入							0	0	0	1	1	0
	受入研修費収入							0	0	0	0		0
	雑収入							0	0	0	52	3	49
	寄附金収入							0	10			5	
	サービス区分間繰入金収入							3,424	4,261	0	132	4,129	-3,997
	その他			0			0	0		0	0	351	-351
収入合計(A)		4,325	4,950	-625	5,167	6,337	-1,170	31,228	33,902	-2,674	114,425	121,827	-7,402
支出	人件費			0			0	25,728	26,844	-1,116	81,820	83,021	-1,201
	事務費			0			0	827	840	-13	2,378	2,842	-464
	事業費			0			0	5	10	-5	18,312	19,031	-719
	管理費			0			0	24	39	-15	9,463	9,251	212
	その他	2,777	3,074	-297	3,291	3,953	-662	5,276	5,760	-484	1,244	4,561	-3,317
	利用者負担軽減額			0			0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	2,777	3,074	-297	3,291	3,953	-662	0	0	0	0	0	0
	ファイナンス債務の返済支出			0			0	977	977	0	244	244	0
	サービス区分間繰入金支出			0			0	4,299	4,783	-484	0	0	0
	拠点区分間繰入金支出			0			0	0	0	0	1,000	4,000	-3,000
その他			0			0	0	0	0	0	317	-317	
支出合計(B)		2,777	3,074	-297	3,291	3,953	-662	31,860	33,493	-1,633	113,217	118,706	-5,489
収支 (A)-(B)		1,548	1,876	-328	1,876	2,384	-508	-632	409	-1,041	1,208	3,121	-1,913

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	気軽におしゃべりしてみませんか	R4年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	コロナ禍で活動の場が少なくなっている傾聴ボランティアの活動の場提供と、地域で個別に話を聞いてもらいたい高齢者をマッチングし、双方のいきがい・やりがい・喜び等を創出する。	1:高齢者	5	傾聴ボランティアと傾聴希望者をマッチングし、お話しのお話の機会を持つ 実施時期: 通年	24	43
2	あなたのお花をだれかの癒しに	R4年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	ケアプラザには庭がなく鉢植えを置けるスペースがないため、植物による彩を取り入れ施設利用者の気持ちを和らげていただく。これまでケアプラザに縁がなかった住民に施設の機能を知らせるきっかけづくりとして、主に高齢者を対象として、地域活動の楽しさや生きがいづくりをテーマにし、社会参加の楽しさを学んでもらい、自主化に向けて支援していきたい。	5:地域		自宅の庭やベランダに咲いた花をケアプラザにお持ち込みいただき、活けた花を来館者に楽しんでもらう。 実施時期: 通年	39	41
3	高齢者対象の活動グループ創出	R5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み		1:高齢者	5	講義・健康づくり・レクリエーションを組み合わせ仲間づくりを促す。 実施時期: 10月	0	0
4	ぴよぴよランチ	H23年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子育て支援。乳幼児とその保護者の仲間作り、ストレス軽減、ちょっとした相談場所を提供する。	3:養育者及び乳幼児		区役所事業(地域育児教室、子育て支援)の後時間をフリースペースとし、昼食が摂れる場とする。主任児童委員、民生委員の見守りで、母親同士が買い物やトイレにゆっくり行けたり、ちょっとした相談ができる。	11	226
5	出張！ 駅ひろば	H23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援。広い場所でのびのび遊ぶことを目的とする。	3:養育者及び乳幼児		「親子の駅ひろば」より職員が出張し、乳幼児親子を対象としたイベントを行う。 6月、10月、2月(年3回)	2	58
6	ゆうわ館で水遊びしよっ！	H24年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	①夏季の遊び場提供 ②養育者のストレス軽減 ③地域活動者と住民の関係づくりの場 ④中学生の地域活動の場の提供	3:養育者及び乳幼児		ゆうわ館の駐車スペースにビニールプールを用意し、プール遊びを実施。室内遊びも出来るよう館内にはおもちゃを用意。水の入れ替え時間をおやつタイムとし、更生保護女性会のPRを行う。地域の中学生がボランティアとしてお手伝い。	2	108
7	親子de遊ぼう！わくわくタイム	H14年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①近い年齢の子ども、養育者への遊びの機会提供 ②公立保育園との距離が遠い地域の為、公立保育園とのつながりを作る。	3:養育者及び乳幼児		公立保育園2園の協力で開催。集団遊び、親子遊びを提供。 10月(年1回)	1	14
8	にこりんく共催事業	H25年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	にこりんくのアウトリーチ事業。にこりんくとケアプラザの機能周知の場。	3:養育者及び乳幼児		地域の養育者の興味関心のあることを題材にイベントを開催 9月(年1回)	1	39
9	さかえおもちゃ病院	H17年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	大切なおもちゃを直すことなどを通じて、子どもの健全育成の手助けをする。	4:子ども・青少年		ボランティアによるおもちゃの修理。壊れたおもちゃを持参いただき、直してもらい、長持ちするよう使い方などをあらためて教えてもらう。 毎月第2日曜日(年12回)	12	66
10	コドモアートキャラバン	H30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区民文化センターリリスのアウトリーチ事業への協力。	4:子ども・青少年		アートを始める第一歩として、アーティストを招き親子で芸術に触れる。 (時期未定)	1	29

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
11	障がい児余暇支援	H25年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①特別支援学校、個別支援級に通う小中学生の余暇の場の提供 ②保護者や関係機関、地域に対して、相談機能を有するケアプラザを周知する ③中学卒業後の障がい児の地域とのつながりの場の提供	2：障害児・者		基幹相談支援センターの協力を得て、地域で暮らす障害児が楽しめる、春夏秋冬の季節に合わせたイベントを開催する。 8月、10月、12月、3月（年4回）	4	82
12	小さなアーティスト展	R3年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①特別支援学校、個別支援級に通う小中学生の表現できる場づくり ②地域周知	2：障害児・者		区社協、区役所の協力を得て、地域で暮らす個別級、特別支援学校に通う子どもたちの作品を表現できる場を作り、地域の方に知ってもらうためのri区役所、SAKAESTA（さかえすた）等で展示会の開催	6	431
13	ポッチャ交流イベント	R2年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障がいを持つ方から高齢者まで一緒に楽しめるイベントを行い、ふれあえるきっかけ作りをする。	2：障害児・者	5	障がいのある方と地域の方との交流として、ポッチャを一緒におこなう	19	165
14	貸し館団体連絡会	H30年	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	施設利用ルールの説明を行い、福祉保健活動を積極的に行っていただけるよう情報提供を行う	5：地域		・施設利用ルール説明 ・福祉保健活動記録の提出について ・災害時の対応について（避難経路の確認） ・団体からの要望聴取、意見交換等 1～2月（年1回）	1	24
15	栄区地域ケアプラザ7館合同自主企画よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	H24年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①身近な会場で研修会を受けていただく機会の提供 ②ボランティア拡充	1：高齢者		よこはまシニアボランティアポイントの概要やボランティアについての講習。受講者にはボランティアポイントカードが発行される。 11月（年1回）	1	2
16	タクシー会社との協働	R2年	3：生活支援体制整備事業		1. タクシー会社との交流の場を持ち、乗客に意見を感じたときの連携を図る。 2. 高齢者向けに乗合タクシー「通称：あいタク」を活用してもらい、外出のための移動支援を目的とする。	1：高齢者		タクシー会社に赴き、顔が見える関係作りをする。 各会社年2回程度	2	53
17	保健活動推進員勉強会と地域向け共催事業	H21年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	①保健活動推進員の介護予防への知識と自信が取り組むべき課題を明確にする。 ②保健活動推進員が地域に出向き、介護予防の普及啓発を行う。	1：高齢者		計測、はまちゃん体操ポイント説明、「健康長寿さかえ応援ノート」紹介、栄養、転倒予防、口腔ケア等	10	215
18	フレイル予防講座（介護予防講座）	R5年度年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	①認知症予防に組み込みながら、フレイルを予防する ②足元をチェックし、正しい姿勢や歩き方を学び、フレイル予防につなげる。	1：高齢者		フレイルの知識、計測、運動、栄養、口腔ケア、認知症予防、「健康長寿さかえ応援ノート」紹介、等	9	158
19	心の健康講座	R2年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	健康な体の維持のためには、心の健康も不可欠となる。心の健康に関心を持ち、心を元気にするスキルを身につける。	1：高齢者		通信制の講座（3か月）。	1	11
20	支え合う仲間づくり	R4年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	JAGESの結果や考察を踏まえた介護予防の課題を地域住民目線で確認し、お互いの見守りや支え合いを強化する。（地域ケア会議につなげ地域全体に目を向けていくことを目指す）	1：高齢者		栄区のアンケート結果を踏まえ、懇談を旨、課題整理をする。（元気づくりステーションのリーダー、地域サロンのリーダー、貸し館団体の代表、ボランティア団体代表、ボランティアポイント講座参加者等に参加を呼び掛ける）	1	15

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることを
 ねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
21	健康教育出前講座	H24年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	移動販売やサロン等に出向き、ミニ講座等を通して、ロコモ予防フレイル予防に取り組むきっかけづくりをする。	1:高齢者		運動実技、認知症予防、計測、「健康長寿さかえ応援ノート」紹介	36	828
22	認知症サポーター養成講座	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症の人と家族が安心して暮らせるまちづくり	5:地域		地域のケアマネジャーと共に認知症の講座を実施。受講者には認知症の人と家族を温かく見守るサポーターの証である「認知症サポーターカード」を配布。ケアプラザが企画する他、地域の団体や機関の依頼に応じて実施する。 年数回	0	0
23	介護者のつどい	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者支援。介護の難しさや悩みを抱えている介護者に対して、介護に役立つ勉強会や情報提供を行いながら、介護者同士のお互いの悩みを話し合ったり情報交換	5:地域	1	介護者同士の懇談、専門家からの情報提供 5月、10月、2月(年3回)	4	31
24	権利擁護相談会	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	身近なケアプラザで専門家に成年後見・遺言・相続などの相談が出来る場をすることにより、成年後見制度の利用促進、または自分らしい「老い支度」を支援する。	1:高齢者	5	司法書士・行政書士による個別相談会 後期 区内地域ケアプラザで1回ずつ、計7回開催	1	8
25	終活講座	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が人生の最期まで自分らしく生きることができるよう、自らの意思で自身の生き方を選択できるよう支援する。栄区版エンディングノート「SAKAEシニアライフノート」の普及啓発。	1:高齢者	5	専門家による講義 「遺言」「高齢者施設について」 年2回	2	57
26	高齢者虐待出前講座	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者虐待の予防・早期発見	6:事業者	6	介護保険事業所等に出向き高齢者虐待についての出前講座を行う。 依頼に応じて年数回	8	145
27	成年後見制度出前講座	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	成年後見制度の普及啓発	6:事業者	6	居宅介護支援事業所に出向き、ケアマネジャー向けに成年後見制度についての出前講座を行う。制度をわかりやすく説明するとともに、成年後見制度等の利用が必要なケースは包括に相談するよう呼びかける。 依頼に応じて年数回	3	63
28	地域ケア会議	H24年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	個別ケース課題の解決に向けた会議と、その分析による地域に共通した課題を明確にして、地域課題の解決に必要な地域づくりや事業の計画などにつなげることを目的とする。	1:高齢者	1.2.5.6.7	実際に支援や見守りを行う実践者が集まり、個人の心配事、困りごとの話し合い、個人を支える地域でのネットワークづくりを行う。「個別レベル地域ケア会議」を積み重ねることにより、地域内の共通課題を探り「包括レベル地域ケア会議」の開催に繋げる。年3回程度	1	20
29	民生委員との懇談会	H24年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	民生委員・主任児童委員の改選もあって、新たに委員皆さんとケアマネジャーとの顔の見える関係作り、相互の業務の理解と協力そして連携して支援をしていく仕組みについて、意見交換を行う。	7:その他	5.6.7	日頃の業務で支援しているケースで、共有すべき問題等の情報を交換して業務に活かしていく。 開催:年2回程度予定	4	73
30	かさまケアマネサロン(勉強会)	H27年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーを主として、その他、支援事業者に対して、マネジメントに必要な知識や技術の様々な分野における講座を開催し、スキルアップの支援をしていく。	6:事業者	6	ケアマネジメントに必要な技術・知識を学ぶ。 ・医療勉強会 ・成年後見制度 ・事例検討会 ・その他 開催:年2~3回程度	3	67
31	在宅医療相談室との共催事業	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	在宅医療相談室との医療面での勉強会および情報提供を支援事業者や地域住民に向けて開催して知識と理解を深めて、支援のスキルアップと在宅生活と医療との連携を図ることを目的とする。	6:事業者	5, 6	・看取りについて(VR体験を含む) ・ACP普及講座 ・その他 開催:年数回予定	3	14

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
32	医療との連携推進「薬局薬剤師との懇談会」	R2年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	医療と介護の連携を目的に、ご利用者(地域住民)と事業者にも最も身近な医療職であって、医療と介護の両面に関わる「業」について、その専門家である薬局薬剤師と関係を作り連携をしていくことを目的とする。	6: 事業者	6	事例検討や勉強会、ケアマネをはじめサービス支援者との懇談 開催: 年2回程度	2	30
33	施設協力医との懇談会	R3年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	施設協力医とケースについての相談や一般医療についての質疑応答など、直接医師と懇談をとおして、問題解決に向けて考え、また知識を増やし業務に活かすことと、医師との顔の見える関係を作る場としている。	6: 事業者	6.7	・テーマを設けた情報交換 ・事例の検討 ・医療相談 等 開催日時: 毎月1回	12	59
34	新任及び就労前ケアマネジャー研修	H28年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	マネジメント業務に必要な内容の講座を開催して、主に新任ケアマネジャーを中心に支援を行う事を目的とする。	6: 事業者	6	例: ケアマネジメント技術、対人援助技術、制度やサービスについて、医療と介護の連携について 等 開催: 年1~2回程度	1	18
35	栄ケアネットとの共催事業	R2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	栄区の居宅介護支援事業所の連絡会と協働して企画・運営を行い研修会等を開催していく。	6: 事業者	6	学びたい事を抽出して講座を開催。栄ケアネットの予算(会費)から講師謝金や運営費を出費して年に数回開催。	5	216
36	ボランティア親睦会	H30年	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	ボランティア活動支援	5: 地域		ケアプラザに登録し活動している個人・団体に感謝を伝え今後の活動継続につなげる。意見交換・情報共有。	1	12
37	栄区高齢者ICTボランティア養成講座	R4年	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられる事を目的として、高齢者に対してのICTのサポート役を養成する。	1: 高齢者		基調講演・スマホ講座等	6	133
38	笠間ハーモニー	R5年	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	楽しく歌って心身ともに健康になって住み慣れた地域で交流の輪を作る。	1: 高齢者		ピアノの伴奏に合わせて皆で歌う。	7	325
39	シニアライフノート出前講座	R5年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	行政書士の先生に依頼し、サロン内でミニ講座を行い、シニアライフノート普及啓発を行う。	1: 高齢者		サロン等で、ノートを持っているが、書いていない人に「ここだけは書いてほしい」重要部分の説明を行う。	2	37
40	キャラバンメイト懇談会(活動名: ケアマフを編む会)	R5年	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	認知症マフを製作し、作品を認知症の方や施設に寄贈し利用してもらう事で認知症の理解を広める。	5: 地域		認知症マフの製作、作品の寄贈、毎月定期開催。	8	126
41	区高齢障害担当と包括主マネとの共催事業	R3年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	ケアマネジャーの知識やマネジメントのスキル向上を目的に包括的継続的ケアマネジメントの講座を企画・運営する。	1: 高齢者		支援者を対象とした勉強会	1	26
42	口は悪いのもと	R5年	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	健康寿命を延伸するために必要な口腔ケアについて学ぶ	1: 高齢者	7	歯周病による講義 歯周病による全身への影響 歯周病の予防	1	23

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
43	田谷組長会体操	R5年	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	田谷地区の活動の場がコロナの影響や高齢化により、沈滞気味となっている。健康を維持するための運動に若い世代から関心をもって取り組むための機会を作る。	5:地域		組長会拡大会議のはじめの時間を使い、作業療法士による講話。	1	50
44	初心者のためのSNSにチャレンジ!	R5年	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	社会参加の新しい形と、誰かと繋がれるツールを地域住民に提供する。ケアプラザの機能を知っていただき身近に感じていただくため、特に年齢層は問わず、ブログ講座を2回にわたり開催。	5:地域		社会参加の新しい形と、誰かと繋がれるツールを地域住民に提供する。	2	29
45	人生会議(ACP)講座 考えてみましょう「人生会議について」	R5年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	人生会議の事があまり知られていないことから、医療現場から見た人生会議の重要性や現状について講演をいただき、横浜市が作成したミニ映画上映会を行い、啓発を図る。	5:地域		ACP(人生会議)の啓発、町内会館を会場にし出張講座を開催。	1	33
46	福祉保健活動おそうじ	R5年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	福祉保健ボランティア活動の場の提供。団体間の交流を深める。	5:地域		多目的ホールや各種貸出物品等の清掃。	1	9